

# 第 35 回近代柔道杯全国中学生柔道大会

## 【大会要項】

令和 4 年 1 月 21 日

公益財団法人 全日本柔道連盟  
株式会社 ベースボール・マガジン社

## 1、大会趣旨

異なる地域の中学生との交流や多くの強豪選手との試合を通して、柔道を学ぶ生徒に夢を与え、逞しく生き抜く力を身に付けさせるとともに、競技力の向上と柔道界の普及、振興を目的とする

## 2、大会名称

第35回近代柔道杯全国中学生柔道大会

## 3、大会会場

横浜武道館

## 4、大会日程

令和4年3月26日（土）～令和4年3月27日（日）

## 5、主催

（公財）全日本柔道連盟、（株）ベースボール・マガジン社「近代柔道」

## 6、後援

（公財）講道館、（公財）日本中学校体育連盟

## 7、主管

神奈川県柔道連盟、（株）BBMスポーツコミッション

## 8、スケジュール

【令和4年3月24日（木）】

18:00 監督会議（リモート会議）

【令和4年3月25日（金）】

19:00 審判会議（リモート会議）

【令和4年3月26日（土）】計量・予選リーグ

08:30 選手・監督入館（受付）

非公式計量（09:30 終了予定）

09:30 計量（11:00 終了予定）

12:00 開会式

12:30 試合開始（17:00 終了予定）

【令和4年3月27日（日）】1部・2部・3部決勝トーナメント

- 08:30 選手・監督入館（受付）
- 09:30 審判会議（10:00 終了予定）
- 10:30 試合開始（15:30 終了予定）
- 16:00 閉会式・表彰式（16:30 終了予定）

9、参加資格

- (1) 出場するチームは全日本柔道連盟に今年度の団体登録をしていること
- (2) 選手は、競技者登録をしており、大会当日に同一中学校の1、2年生に在籍しているもの

※同一中学校からの複数チームの出場は認める その場合は、チーム名の最後に順番にアルファベットを割り当てる（例；近代柔道中学校A、近代柔道中学校B）

※単一校でチームを編成できない場合は、合同チームで出場できる ただし、同一市区町村内で2校の合同チームであること

※外国人学校の出場も可能（海外チームの招聘については予定しておりませんが、自費での参加については可能です 海外チームの参加資格は主催者が協議のうえ決定する）

※参加資格の特例（全国中学校柔道大会と同様）

・学校教育法第134条の各種学校（1条校以外）に在籍し、都道府県中学校体育連盟に参加を認められた生徒であること

・参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること

①全国大会の参加を認める条件

ア)（公財）日本中学校体育連盟の目的および長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること

イ) 生徒の年齢および就業年限が、我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること

ウ) 参加を希望する学校にあたっては、運動部活が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教師の指導のもとに、適切に行われていること

②全国大会に参加した場合に守るべき条件

ア) 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること

イ) 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長または教員が生徒を引率すること また、万一事故の発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと

- (3) 原則として、2日間すべての大会日程に参加できること

## 10、監督、コーチおよび引率者

- ・監督は、全柔連公認指導者資格（B 指導員以上）を有し、今年度の全柔連登録を完了した者とする
- ・コーチは、全柔連公認指導者資格（C 指導員以上）を有し、今年度の全柔連登録を完了した者とする
- ・上記の場合の監督・コーチは、資格のあるものであれば当該校所属でなくても可とする
- ・単独の学校で複数チーム出場する場合は、当該校に限り監督、コーチの兼務を認める
- ・引率者は、監督、コーチが出場する学校の専任教員でない場合に限り学校長が認めた専任教員 1 名を帯同させることができる

## 11、計量について

日時／3 月 26 日（土） 9:30～11:00 ※非公式計量は 9:00～9:30 で行う

会場／未定

※計量を終了したチームから集合写真撮影を行う

## 12、チーム編成

### 【オープンの部】

- ・チームは 1 校単位で編成したチームとする（ただし、1 校でチームを編成できない場合は、同一市区町村、2 校以内の合同チームで出場が可能／詳細は合同チーム出場規定を参照のこと）
- ・1 チームの人員は監督 1 名、コーチ 1 名、選手 8 名（補欠 3 名を含む）とする  
選手は最低 3 名とし、監督不在のチームは出場を認めない
- ・出場順は、先鋒より体重の軽い選手とする（選手が 5 名に満たない場合は体重区分の範囲内で前詰めとなる）
- ・選手編成は、先鋒・次鋒＝66kg 以下、中堅＝81 kg 以下、副将・大将＝体重無差別とする

先 鋒	<	次 鋒	<	中 堅	<	副 将	<	大 将
		↓		↓		↓		
		-66Kg		-81Kg		無差別		

- ・女子選手の参加を認めるが、その選手は女子の部との二重登録はできない

### 【女子の部】

- ・チームは 1 校単位で編成したチームとする（ただし、1 校でチームを編成できない場合は、同一市区町村、2 校以内の合同チームで出場が可能）
- ・1 チームの人員は監督 1 名、コーチ 1 名、選手 5 名（補欠 2 名を含む）とする

選手は最低2名とし、監督不在のチームは出場を認めない

・出場順は、先鋒より体重の軽い選手とする（選手が3名に満たない場合は体重区分の範囲内で前詰めとなる）

・選手編成は、先鋒=52kg以下、中堅=63kg以下、大将=体重無差別とする

先	鋒	<	中	堅	<	大	将
↓			↓			↓	
-52 kg			-63 kg			無差別	

### 13、選手変更

・怪我や病気により大会申し込み締め切り後に登録選手を変更する場合は、学校長の印を付した選手変更届を監督会議（24日（木）18:00開始）の1週間前までに事務局に提出すること

これ以外の登録選手変更は認めない

・監督会議終了後の選手変更は、登録された補欠から行うこと

・試合が始まってからの選手変更についても、試合に出場する順番は体重の軽い選手からとする。また、その場合も、先鋒・次鋒が-66kg、中堅が-81kg（女子は先鋒が-52kg、中堅が-63kg）であること

・一度退いた選手は、その後再出場できない

・複数チームで出場する学校において、出場登録したチーム間での選手の異動を伴う選手登録の変更は認めない

### 14、試合審判規定

・国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」を適用する

・試合時間は3分間とする

### 15、試合方法

・試合は1チーム5名（女子は3名）の点取り戦とする

・大会初日に3または4チームずつに分け、リーグ戦を行い、大会最終日にリーグ戦各組1位のチームによる1部トーナメント戦、各組2位のチームによる2部トーナメント戦、各組3位と4位のチームによる3部トーナメント戦を行う

・各組1位および2位は予め組まれたトーナメント表に従って大会最終日の試合を行う

・各組3位および4位は予選リーグ終了後に抽選を行い大会最終日の試合を決定する

・勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。

・優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「僅差」

**【予選リーグにおけるチーム間の勝敗の決定方法】**

- ア) チーム間における勝ち数による
- イ) ア) において同等の時は、勝ちの内容によって決定する
- ウ) イ) において同等の時は、引き分けとする

**【予選リーグ内の順位の決定方法】**

- ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による
- イ) ア) において同等の時は、勝ち数の合計による
- ウ) イ) において同等の時は、勝ちの内容により決定する
- エ) ウ) において同等の時は、負け数の合計により決定する
- オ) エ) において同等の時は、負けの内容により決定する
- カ) オ) において同等の時は、代表選手を自由に選出して代表戦を行う  
代表戦は3分間の本戦を行い、得点差が無い場合はゴールデンスコア方式の延長戦によって決定する

**【1部・2部・3部決勝トーナメントの勝敗の決定方法】**

- ア) チーム間における勝ち数の数による
- イ) ア) において同等の時は、勝ちの内容によって決定する
- ウ) イ) において同等の時は、引き分けの個人対戦の組み合わせでゴールデンスコア方式による再試合を行い、勝敗を決する。なお、引き分けが複数の場合は抽選により、1組の再試合を行う

※開催状況によっては、各項とも変更となる

16、柔道衣について

- ・(公財) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿)を着用すること  
(最新の公認柔道衣は全日本柔道連盟のホームページを参照のこと)
- ・国際柔道連盟公認マークまたは全柔連認証番号ラベル(“JU”と4桁の数字が入ったラベル)がついている帯を着用すること。
- ・競技中、規格外の柔道衣着用が判明した場合は失格とする
- ・(公財) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること
- ・ゼッケン縫付け場所は後ろ襟から概ね5~10cm下部に位置する場所に縫付ける。また、

対角線にも強い糸で縫付ける

- ・ゼッケンを縫付けていない選手は出場出来ない

## 17、表彰

- ・決勝トーナメント各優勝チームには近代柔道杯、賞状、メダル(全員)を授与する
- ・決勝トーナメント各2位および3位チームにはトロフィー、賞状、メダル(全員)を授与する
- ・決勝トーナメントにおけるオープンの部、女子の部の対象選手に、優秀選手としてトロフィーを授与する
- ・決勝トーナメントにおけるオープンの部、女子の部で最も一本勝ちの多い選手各1名を一本勝ち大賞としてトロフィーを授与する この場合は準決勝に進出した8チームの選手の中から選考するものとし、試合は予選リーグ第1回戦から最終試合までの全試合を対象とする また、一本勝ちの数が同数の場合は次の順によって決定する
  - (ア) 一本勝ちが同数の場合は、一本勝ち率によって決定する
  - (イ) 一本勝ち率が同等の場合は、内容によって決定する
  - (ウ) 一本勝ち内容が同等の場合は、時間によって決定する
  - (エ) 時間も同等の場合は、同時受賞とする

※開催状況によっては、各項とも変更となる

## 18、その他

(1) 皮膚真菌症(トンスランス感染症)の発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会へ出場ができない場合もある。

(2) 脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。

- ・大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ・大会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。(受傷した時点で必ず専門医を受診すること)
- ・練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
- ・上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出すること。

## 19、参加費

オープンの部：1チーム 5,500円(税込・保険料他)

女子の部：1チーム 3,300円（税込・保険料他）

支払先：大会参加申込書をお送りいただいた後に、各学校へご案内いたします

2月18日（金）申込書・登録用紙・入金締切

## 20、申込方法

・大会詳細ページ（「BBM スポーツ」サイト内の「第35回近代柔道杯」バナーをクリック）のフォームに必要事項を記入の上大会事務局まで E-mail（kinjyuhai@bbm-japan.com）にて送付すること

また、メールにて参加申し込み後に、学校長名欄に署名し、学校印を押印した申込書を大会事務局へ郵送すること（2月末日までに郵送すること）

・出場選手登録は、参加申込を行った後、大会詳細ページより選手登録用紙（Excel ファイル）をダウンロードし、必要事項を記入の上大会事務局まで E-mail（kinjyuhai@bbm-japan.com）にて送付すること

## 21、個人情報、肖像権の取り扱いについて

・参加申込用紙に記載された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が、大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、全柔連ホームページ、大会ホームページに掲載される場合がある。

・全柔連の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。

・大会時に撮影する映像（ケアシステム等）を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。

・提出された個人情報については、上記及び下記23、①の利用目的以外に利用しない。

・参加申込用紙の提出により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱い、及び下記22、①に関する承諾を得たものとして対応する。

## 22、健康記録表兼同意書およびPCR検査陰性証明書などの提出について

・今大会では、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、

①会場に入場する選手、指導者等すべての入場者が健康記録表兼同意書を提出することとする。上記①は本大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的とする。本記録表に記入頂いた個人情報等の個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、来場・出場可否の判断および必要なお連絡のためにのみ利用する。但し、大会会場にて感染者患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要範囲で保健所等に提供することがある。

上記①に基づき、参加可否を判断する。上記①にご協力いただけない方は本大会に参加で

きないものとする。

☆ I . 健康記録表兼同意書 (Excel データ・大会参加者共通) は大会詳細ページ (「BBM スポーツ」サイト内から入手可能。Excel で入力後、各自で印刷をして最初の入館時に原本を提出すること。Excel での記入が難しい場合には、手書きで記入も可

☆全柔連 HP 掲載の「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」(<https://www.judo.or.jp/news/503/>)についても必ず一読すること

### 23、問い合わせ先

● (株) ベースボール・マガジン社 近代柔道杯事務局

〒103-8482 東京都中央区日本橋浜町 2-61-9 TIE 浜町ビル

TEL:03-5643-3927 FAX:03-5643-3928

(平日 10:00~18:00)

E-mail アドレス:kinjyuhai@bbm-japan.com